

福祉職人材回帰マッチング事業の効果検証

1 事業の目的

市内の福祉施設等における人材不足を解消し、介護や保育などの福祉サービスが持続的かつ安定的に供給されることにより、市民の就労機会の拡大を図ることを目的として、道央圏の学生を対象に、市内の福祉施設におけるインターンシップやボランティアスタッフとしての受入れを行い、市内事業所と人材のマッチング機会を創出する。令和元年度～令和3年度までの3年間の実施計画としており、国の地方創生推進交付金を充当している。

2 プロポーザル

委託事業者の選定にあたり、令和元年8月6日にプロポーザル審査会を実施。
審査の結果(株)JTB北海道事業部を委託先として決定。

3 実績

・介護分野について

- (1)実施日：令和元年11月2日(土)～4日(月) 2泊3日
- (2)参加人数：17人(募集人数20人) ※札幌市在住の学生
- (3)参加法人：雄心会、民生博愛会、上磯康啓会、上磯はまなす、函館緑花会
- (4)主な行程：市内介護施設でのインターンシップ、市内観光
- (5)実施後：アンケートを回収し、集約

・保育分野について

- (1)実施日：令和2年2月22日(土)～24日(月) 2泊3日
- (2)参加人数：6人(募集人数15人) ※札幌市の学生
- (3)参加法人：民生博愛会、侑愛会、ゆうあい学園
- (4)主な行程：北斗市の紹介、PR、各保育施設の説明会、市内観光
※新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設でのインターンシップは中止
- (5)実施後：アンケートを回収し、集約

4 成果

参加者は、令和2年度以降に卒業する学生であるため、現時点での就職実績はないが、マッチング機会の創出が図られたほか、実施後アンケートでは、「仕事内容(介護や保育の)や職場の雰囲気分かった。」「北斗市のこともあまり知らなかったが、来てみたらすごく良いところだったので、就職先の候補として検討したい。」という声も複数あり、北斗市の知名度向上や福祉職への理解という観点では一定の効果があった。

5 課題と今後の取組

○課題

- ・就職する可能性が高い学生の参加を促す。
- ・学生が参加しやすい実施時期を設定する。→実施後アンケートを参考

○今後の取組

- ・業者の選定にあたり、複数の業者から委託先を決定する。
- ・参加者を募集する学校の調査・分析を強化する。
- ・複数の時期を設定し、学生が参加しやすい時期に実施する。
- ・北海道が管理する保育士資格保有者のデータなどを収集し、潜在的保育士を掘り起こす。
- ・市からも参加者を募集する学校へ周知・依頼を行う。
- ・実施後も参加者へのフォローアップとして、参加法人より採用情報等の送付を行う。

7 令和2年度の事業について

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の執行を停止中である。

そのため、K P I (目標)の達成が困難となり、来年度の実施の可否も含め、計画の見直しを検討している。

8 事業(計画)の見直しについて

- ・計画策定時の指標

K P I (重要業績評価指標)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	合計
K P I ①()内は実績	3人(0人)	4人	5人	12人
K P I ② "	20人(23人)	25人	30人	75人
K P I ③ "	▲10人(▲10人)	▲11人	▲12人	▲33人
事業費(50%が交付金)	3,729千円	3,359千円	3,024千円	10,112千円

令和2年度(2年目)の事業については、実施を中止したため、合計欄の目標値達成は非常に困難であることから、目標値を下げ、再設定する必要がある。

(1) K P I ①…インターンシップ事業参加者の本市就職者数

(2) K P I ②…インターンシップ参加者数

(3) K P I ③…協議会構成施設における介護職正職員不足数

※インターンシップ事業だけではなく、通常の採用による人手不足解消も含む。

(参考)

○令和元年11月2日(土)～4日(月)

・インターンシップ内容

- (1) 雄心会…公民館で開催されていた文化祭で、入居者の方を補助しながら一緒に鑑賞。
終了後は施設に戻り実習。
- (2) 民生博愛会…施設内で入居者の方と遊ぶ、会話する、車いすの操作を体験。
- (3) 上磯康啓会…施設内で施設の方のお手伝い、起こす体験、職員との意見交換。
- (4) 上磯はまなす…施設の説明、入居者の生活の補助。
- (5) 緑花会…施設の説明、入居者の生活の補助。



○令和2年2月25日(火)～27日(木)

・インターンシップ→市役所での施設説明会へ変更

(1) ゆうあい幼稚園、七重浜こども園

(2) 第二東光保育園、大野保育園



福祉職人材回帰マッチング事業の効果検証

地方創生推進交付金に係る事業実施結果 [北斗市総合戦略検討・推進会議 効果検証用シート]

【交付金対象事業名】福祉職人材回帰マッチング事業（令和元年度）

本事業における重要業績評価指標（KPI）			評 価		実績値を踏まえた事業の今後について	
指 標	目 標 値	単 位	実 績 値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由
① 本事業（インターンシップ）参加者の本市就職者数	3	人	0	地方創生及び総合戦略のKPI達成に効果があった。	事業内容の見直し（改善）	福祉職の人材不足解消に向けた事業は、今後も継続していく必要があるため。
② 本事業（インターンシップ）参加者数	20	人	23			
③ 協議会構成施設における介護職正職員不足数	▲10	人	▲10			

事業名称	事業の目的・概要	事業の進捗成果	決 算 額
福祉人材回帰マッチング事業	道央圏の学生を対象として、市内の福祉施設におけるインターンシップやボランティアスタッフとしての受入れを行い、市内事業所と人材のマッチング機会を創出することで、本市への若年層の転入促進と併せて、市内の福祉施設等における人材不足解消を図ろうとするもの。	<p>プロポーザルの結果、㈱JTB北海道事業部を委託先として事業を実施した。</p> <p>また、就職活動の時期が異なること等から、介護分野と保育分野の日程を分けて行った。</p> <p>介護分野については、令和元年11月2(土)～4日(月)の2泊3日を実施し、札幌市在住の学生17人が参加した。</p> <p>市内介護施設でのインターンシップ及び市内観光を行い、介護職への理解・関心を高め、本市の魅力もPRした。</p> <p>保育分野については、令和2年2月22日(土)～24日(月)の2泊3日を実施し、札幌市在住の学生6人が参加した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、各施設でのインターンシップは行うことができなかったが、市役所内で各施設の説明会を開催し、保育士についての理解・関心を高め、本市の魅力もPRした。</p>	3,729,000円